

# 「道の駅」第3ステージの取組状況

---

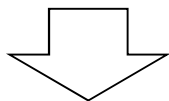
# 「道の駅」の経緯

## 道路利用者の休憩施設から地域の中心拠点へ

### 第1ステージ(1993年～)

『通過する道路利用者のサービス提供の場』

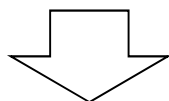
- 道路利用者が安心して休憩できる場を提供



### 第2ステージ(2013年～)

『道の駅自体が目的地』

- 地域の創意工夫により、道の駅自体が観光の目的地や地域の拠点に発展



### 第3ステージ(2020年～2025年)

『地方創生・観光を加速する拠点』

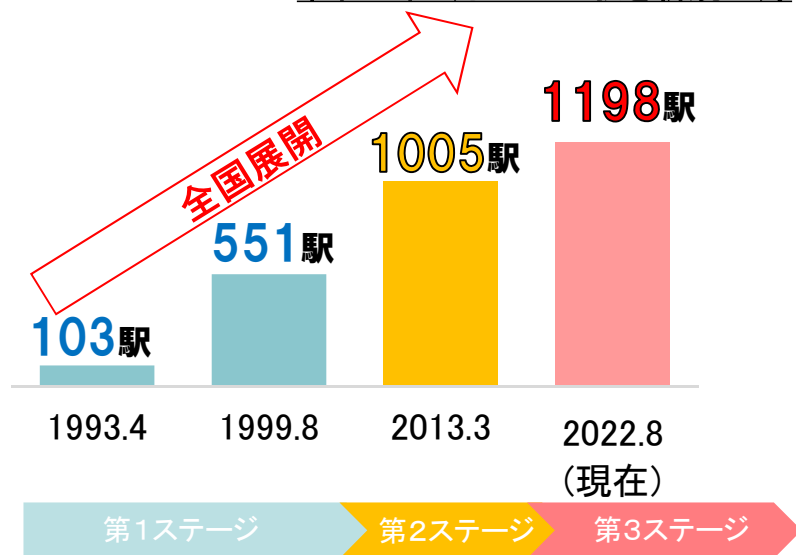
- 地方創生・観光を加速する地域の中心的な拠点として機能
- 「道の駅」同士等の連携により、新たな地域づくりに貢献

新たな「道の駅」ネットワーク

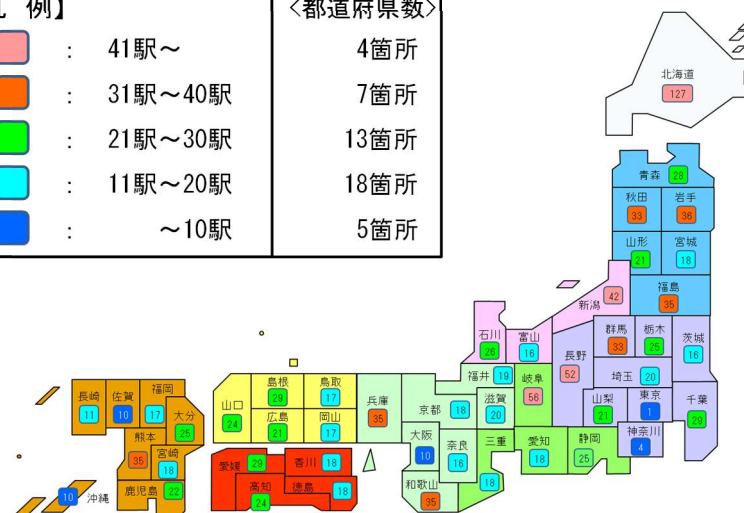


## 全国「道の駅」登録数: 1,198 駅

令和4年8月5日 4駅を新規登録



【凡例】	<都道府県数>
41駅～	4箇所
31駅～40駅	7箇所
21駅～30駅	13箇所
11駅～20駅	18箇所
～10駅	5箇所



## 新「道の駅」のあり方検討会 提言

令和元年11月18日

### 第3ステージ（2020年～2025年） 《地方創生・観光を加速する拠点》

「道の駅」を核に地方創生

持続可能な安定運営

### 「2025年」に目指す3つの姿

#### 1. 道の駅を世界ブランドへ (ニューノーマル対応)



<これまでの主な取組み>

- **キャッシュレス導入**
- **道の駅同士が連携したEC/通販**
- **施設の衛生環境の改善**

#### 2. 新「防災道の駅」が 全国の安心拠点に



<これまでの主な取組み>

- **「防災道の駅」制度の創設と重点支援**
- 地域防災力の強化のための **BCP策定** や防災訓練等の実施
- **「防災拠点自動車駐車場」**の指定

#### 3. あらゆる世代が活躍する 舞台となる地域センターに



<これまでの主な取組み>

- **子育て応援施設の併設**
- **道の駅ニーズと民間シーズのマッチング** による地域の課題解決
- **大学等との連携**によるインターンシップや実習

3つの姿を実現する安定基盤の構築

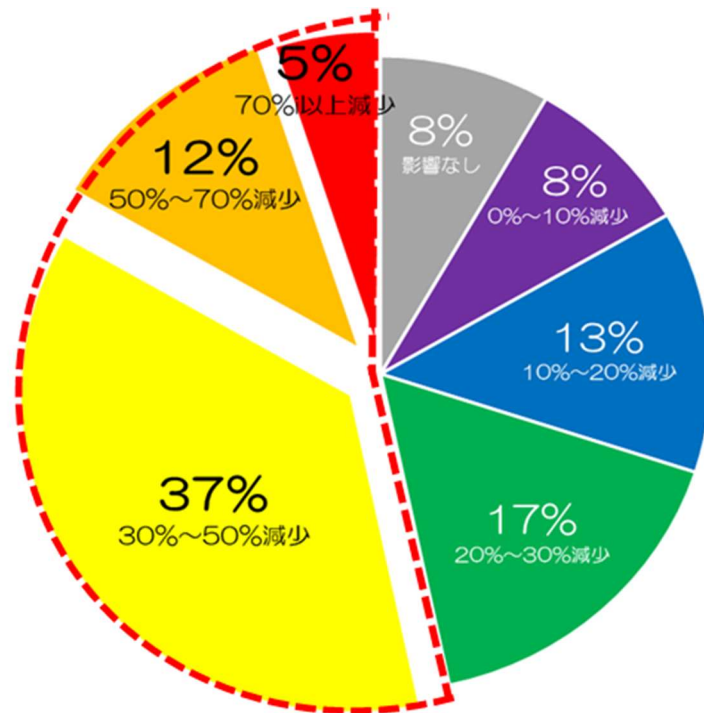
国等からの支援の充実

全国連絡会のエージェント機能の強化

# ニューノーマル対応

○第3ステージの開始とともにコロナ禍となり、道の駅の経営にも大きな影響が生じる中、道の駅の現場では、衛生環境の改善や新たな商習慣への関心が高い

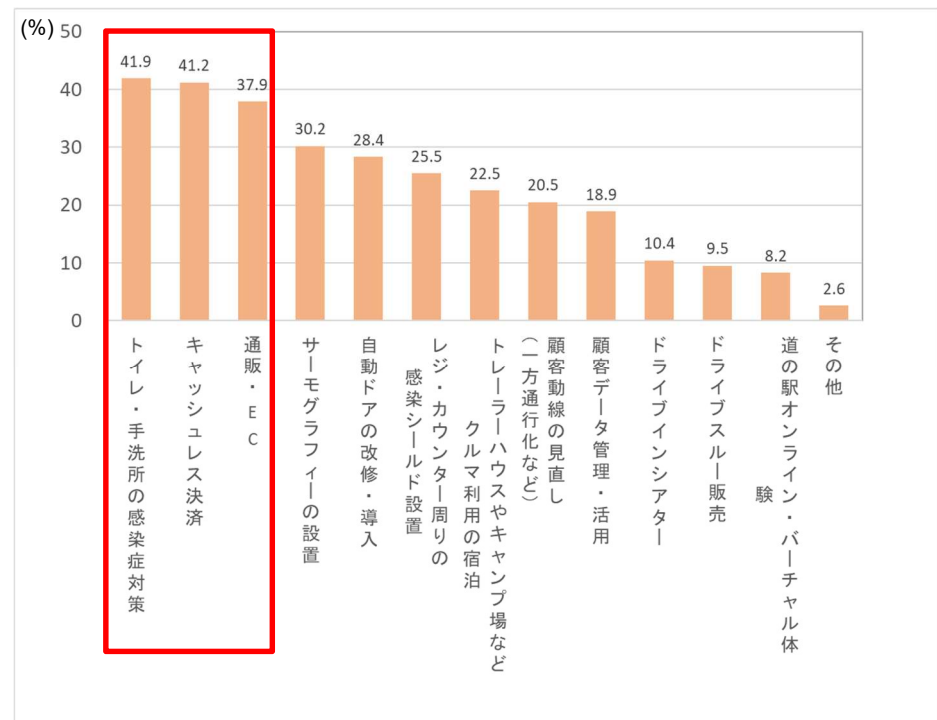
## コロナ禍における道の駅の経営への影響



半数以上の道の駅が、コロナ禍で3割以上売上が減少

※国土交通省によるサンプル調査による  
売上げは、2021年5月の2019年5月に対する割合

## 道の駅が新たな生活様式下で「興味・関心を」持つもの



コロナ禍で関心が高い取組は、「トイレ・手洗所の感染症対策」「キャッシュレス決済」「通販・EC」

※出典:全国道の駅連絡会「第4回新型コロナウイルス感染症による経営実態調査」  
(調査時期:2021年10月~11月)

# ニューノーマル対応

主な取組	時期	概要	今後の方針
<p>キャッシュレス 導入支援 (新しい商習慣への 対応)</p> 	<p>2020.4~</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国道の駅連絡会がパートナー事業者を公募</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>電子マネー</li> <li>クレジットカード</li> <li>モバイルQR決済</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国交省の協力の下、ブロック単位の説明会と個別説明会で、市町村及び管理運営者へ働きかける「草の根キャッシュレス」を展開</li> </ul>	<p>引き続き、各道の駅、利用者双方がメリットを実感できる丁寧な対応を推進</p>
<p>EC/通販 (来店以外の販路拡大)</p>	<p>2020.6~</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国道の駅連絡会が中心となり、EC/通販に関心のある複数の道の駅が参加できる共通の通販サイトを運営</li> </ul>  <p>▲加工品(2020.6~) ▲生鮮品(2020.12~) ▲海外向け(2021.4~)</p>	<p>「道の駅」のブランド力を活かし、道の駅同士の商品を組み合わせた新たなサービスを検討</p>
<p>衛生環境の改善・換気対策の支援</p>	<p>2022.1~</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会資本整備総合交付金の重点分野に、道の駅の「ポストコロナ対応」を新たに追加し、対象とする道の駅を限定せず、トイレの洋式化等を重点的に支援</li> </ul>  <p>▲トイレの洋式化 ▲非接触化</p>	<p>トイレの洋式化をはじめ、道の駅の施設改修を支援</p>






# 防災機能強化

主な取組	時期	概要	今後の方針
<p>「防災道の駅」 制度の創設</p>	<p>2021.6</p>	<p>・都道府県の地域防災計画等で、広域的な防災拠点に位置づけられている道の駅について、「防災道の駅」として選定し、防災拠点としての役割を果たすための重点的な支援を実施(2021年6月に全国39駅を選定)</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・自衛隊、警察、テックフォース等の救援活動の拠点</li> <li>・緊急物資等の基地機能</li> <li>・復旧、復興活動の拠点 等</li> </ul>	<p>各「防災道の駅」に対してハード・ソフト両面での重点支援を実施</p> <p>候補箇所の指定条件の適合具合や地域意向等を確認しつつ、全国100箇所程度を目途に選定</p>
<p>「道の駅BCP策 定ガイドライン」 等の策定</p>	<p>2021.8</p>	<p>・国交省の「ガイドライン」と全国道の駅連絡会の「マニュアル」により各「道の駅」におけるBCP策定を促進</p>	<p>「防災道の駅」や防災拠点自動車駐車場におけるBCP策定を重点的に推進</p> <p>まずは簡易版を策定し、順次内容の充実が図られるよう支援方策を検討</p>
<p>「防災拠点自動車 駐車場」の指 定制度の創設</p>	<p>2022.3</p> <p>※2021.3 道路法等改正</p>	<p>・地域防災計画に位置付けがある「道の駅」等の自動車駐車場を国土交通大臣が指定(2022年3月に道の駅332箇所等を指定)</p> <p>・道路管理者が、災害時に防災拠点としての利用以外の制限や災害時に有用な施設等の占用基準の緩和等が可能</p>  <p>▲利用の禁止・制限の際に設ける標識</p>	<p>地域防災計画への位置付け状況等を踏まえ、指定</p>

主な取組	時期	概要	今後の方針
<p>子育て応援施設の整備支援</p>	<p>2019.1~</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「道の駅」登録・案内要綱にベビーコーナーの設置を追加し、新規に登録する道の駅では整備を要件化</li> <li>・2019年度から社会資本整備総合交付金で重点支援</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲24時間利用可能なベビーコーナーの設置</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲妊婦向け屋根付き優先駐車スペース</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲おむつのばら売り</p> </div> </div>	<p>国が整備した事例を中心に手引きを策定し、各道の駅における取組を推進</p>
<p>ニーズ・シーズマッチング (道の駅の課題解決)</p>	<p>2021.9~</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の道の駅が直面する課題・ニーズと、それを解決する可能性のある企業(連絡会賛助会員)の技術・製品等をマッチングするプロジェクト(オンライン)の実施</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>	<p>定期的実施</p> <p>ニーズの常置受付およびシーズの個別提案をウェブ上で実施検討</p>
<p>大学連携</p>	<p>2015~ (継続)</p> <p>2022.3 (見直し検討)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の魅力の集まる「道の駅」と、観光学等を学ぶ若者の交流により、新たな価値の創造を図り、観光・地域づくりを担う将来の人材育成や地方創生にも寄与</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍における連携手法として、課題解決型のオンラインによる意見交換会を試行</li> </ul>	<p>コロナ禍におけるあり方を全国道の駅連絡会等と調整</p> <p>(ワークショップ型、インターンシップ型)</p>





# 「道の駅」の現場ニーズ(例)

○全国の道の駅から、更なる発展と日常的な運営の双方のニーズが示されている。





	ニーズの具体例	対策イメージ
<p>経営ノウハウ</p>	<p>○経営ノウハウ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冬場の閑散期における売上対策が知りたい。</li> <li>・名物以外の売上増加方法が知りたい。</li> </ul> <p>○新規事業の取組みノウハウ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリジナル商品の開発</li> <li>・道の駅におけるイベントの企画・実施</li> </ul> <p>※「ニーズの具体例」は、2021年度に行った「ニーズ・シーズマッチング」プロジェクトのニーズ調査、国交省ウェブアンケート等より抽出</p>	<div style="text-align: center;">  </div> <p>行政機関が主催する研修で学んだ売り場構成のノウハウをスタッフ全員と共有し、実践 「きこない」(北海道上磯郡木古内町)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="1451 778 1624 1040"> <p>スゴイぞ 1</p> <p>お家からでもどこでも安心・安全にお買い物ができる</p>  </div> <div data-bbox="1630 778 1803 1040"> <p>スゴイぞ 2</p> <p>鹿部町の「うまいもの」に詳しいスタッフがおすすめを教えてください</p>  </div> <div data-bbox="1809 778 1982 1040"> <p>スゴイぞ 3</p> <p>おすすめ商品だけでなく、種別や食べ方、立地まで案内してくれる</p>  </div> </div> <p>コロナ禍で、道の駅スタッフが事前予約した利用者とマンツーマンでWebカメラ接続により購買対応等の接客を行う「Web来店」を実施。 「しかべ間歇泉公園」(北海道茅部郡鹿部町)</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div data-bbox="1534 1204 1646 1268" style="margin-right: 10px;"> <p>《五葉豆》 ※五葉豆ゼラート ※五葉豆ラテ ※五葉豆パン</p> </div> <div data-bbox="1653 1204 1892 1412">  </div> </div> <p>町内の県立高校と協同で商品開発 「うご」(秋田県雄勝郡羽後町)</p>



# 「道の駅」の現場ニーズ(例)

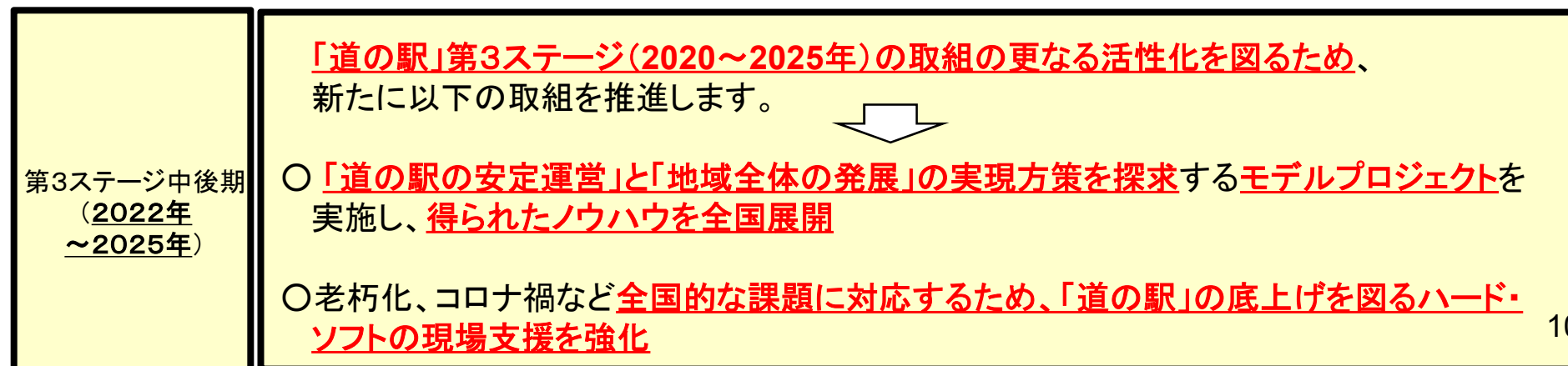
	ニーズの具体例	対策イメージ
デジタル技術の導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>○デジタルサイネージの活用による低コスト化・省人化               <ul style="list-style-type: none"> <li>・経費削減のため、無人でも情報発信が可能なデジタルサイネージの活用を検討したい</li> </ul> </li> <li>○デジタル技術を活用した運営環境の改善               <ul style="list-style-type: none"> <li>・テナントの売上管理やコミュニケーションが可能なツールの導入</li> </ul> </li> </ul>	 <p>外部の観光案内所からデジタルサイネージ上のアバターを遠隔操作し、来訪者へ情報提供 「かさま」(茨城県笠間市)</p>
データ活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○デジタル技術を活用した運営環境の改善               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「お客さまがどこからどれだけ来ているか」を把握するために、係員を常駐させて駐車場のナンバープレートをチェックしデータを測定していたが、手間も費用もかかり、アナログな手法に限界</li> <li>・農産物の出荷時期等を道の駅間で調整するシステム</li> </ul> </li> </ul>	 <p>来街者の行動を分析するために設置された AI カメラ 属性データを取得する AI カメラを活用。平日夜に少ない20~40代に向けたイベントを開催 「松山中央商店街」(愛媛県松山市)</p>
道の駅同士の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道の駅同士の連携               <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺の道の駅と、新たな施策や日常運営で協力したい</li> </ul> </li> </ul>	  <p>共同出店・共同イベント開催 (収益は、連携事業の活動費に充当) 奥伊予街道七駅物語事業推進協議会</p>

※「ニーズの具体例」は、2021年度に行った「ニーズ・シーズマッチング」プロジェクトのニーズ調査、国交省ウェブアンケート等より抽出

	ニーズの具体例	対策イメージ
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">駐車場利用</p>	<p>○駐車場利用問題への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長時間滞在される方への対応</li> <li>・所有者不明の放置された車両への対応</li> <li>・宿泊目的の車両により休憩目的の車両が駐車できない事象の発生</li> <li>・ゴミの放置、トイレの水くみ等への対応</li> <li>・駐車スペース以外へ駐車している車両への対応</li> </ul>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>RVパークの設置 「あそ望の郷くぎの」 (熊本県阿蘇郡南阿蘇村)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>駐車場利用ルールの明示 「びわ湖大橋米プラザ」 (滋賀県大津市)</p> </div> </div>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">施設改修の支援</p>	<p>○老朽化対策・リニューアル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化対策に活用できる支援メニュー</li> <li>・施設が老朽化しているため修繕したいが予算がない</li> </ul> <p>○ポストコロナ対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポストコロナのために必要な道の駅設備が知りたい</li> <li>・ポストコロナ対応に活用できる支援メニュー</li> </ul>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>&lt;改修前&gt;</p> </div> <div style="font-size: 2em;">➤</div> <div style="text-align: center;">  <p>&lt;改修後(H30.6改修)&gt;</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">トイレを改修し、来場者数、売上が増加 「さんりく」(岩手県大船渡市)</p>

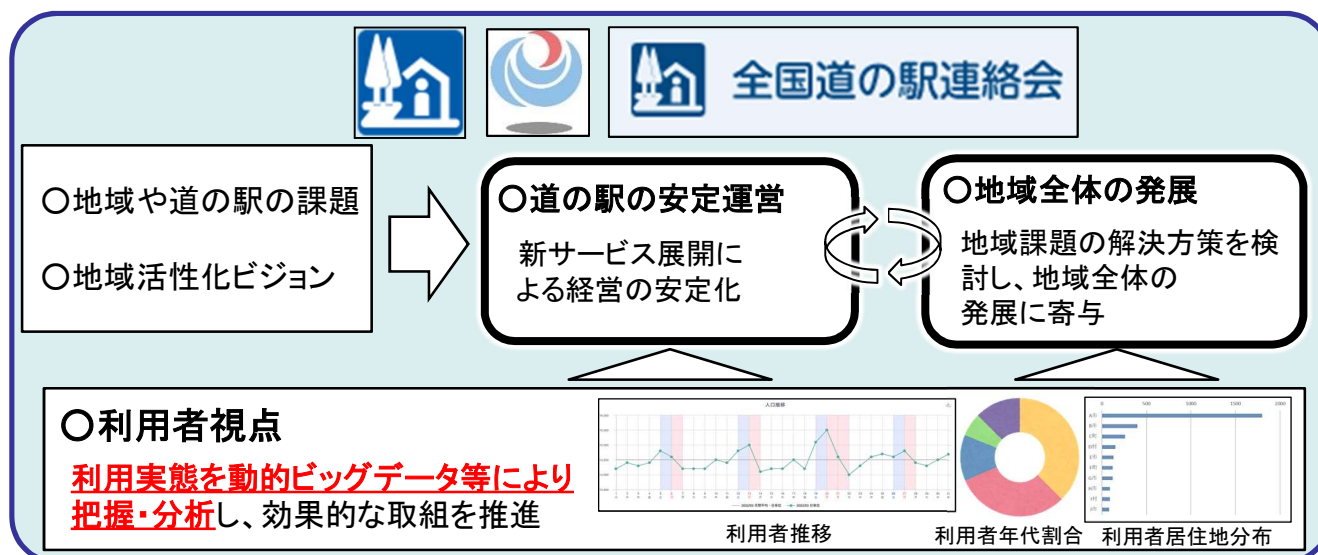
※「ニーズの具体例」は、2021年度に行った「ニーズ・シーズマッチング」プロジェクトのニーズ調査、国交省ウェブアンケート等より抽出

# 「道の駅」の取組経緯



# 「道の駅」第3ステージ 新たな取組(イメージ)

○「道の駅」を牽引する自治体、制度を所管する国、「道の駅」内外のネットワークを持つ  
 全国道の駅連絡会が協働し、「道の駅の安定運営」と「地域全体の発展」の実現方策を探求する  
 モデルプロジェクト



得られたノウハウを全国展開

○老朽化、コロナ禍など全国的な課題に対応するため、「道の駅」の底上げを図る現場支援を強化

- ・現場の運営管理等の様々なノウハウを「道の駅」同士で共有
- ・モデルプロジェクトの課題を含め、幅広く現場支援方策を検討



▲売場構成を工夫し、魅力度向上

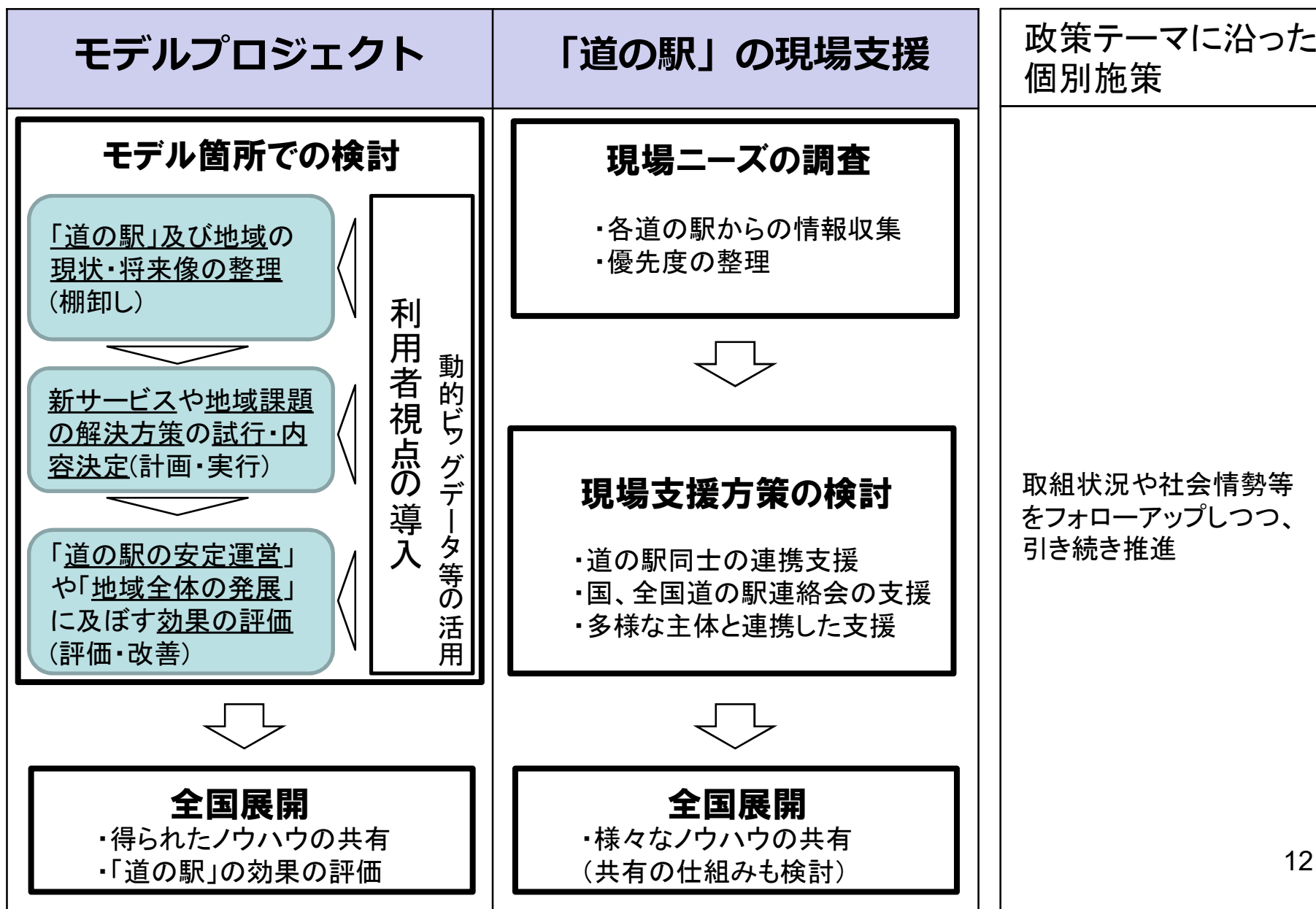


▲新しい商習慣のキャッシュレス決済



▲PFIを活用した施設のリニューアル  
 (道の駅「むつざわスマートウェルネスタウン・道の駅・つどいの郷」)

# 第3ステージ中後期の進め方





※「道の駅」同士の連携を促進し、将来的に、「道の駅」関係者の理解の下、各「道の駅」に関する様々なデータの一元管理も検討

# 第3ステージの新たな取組スケジュール(想定)

取組	項目	2022年度			2023年度以降
		第2四半期 (8月～9月)	第3四半期 (10月～12月)	第4四半期 (1月～3月)	
モデルプロジェクト	「もてぎ」、 「とみうら」での モデルプロジェクト の実施				2022年度の成 果・課題を踏ま え、継続
	モデルプロジェクト のとりまとめ				2022年度の成 果・課題を踏ま え、継続
	ノウハウの 全国展開				
道の駅の 現場支援	現場支援方策の 検討				
	現場の運営管理等 の様々なノウハウの 共有				

# (参考)各道の駅における取組事例

## (1) 観光拠点

### 「まちなかへの誘導装置」としての道の駅

■道の駅「川のみなと長井」(山形県長井市)  
 長井の玄関口として観光情報の発信、特産物の紹介、  
 旅行業商品企画などを実施。川とまちをつなぐ施設として  
 「まちへ人を」「まちから人を」誘導するための拠点として  
 活用。  
 今後は、道の駅の近くに整備予定の公共複合施設など  
 も含めた一体的な活用によるまちなかの賑わい創出に期待。

■ レンタサイクル・周遊バス ■ まる得セットクーポン

■ 旅行商品企画 ■ 動画作成・PR

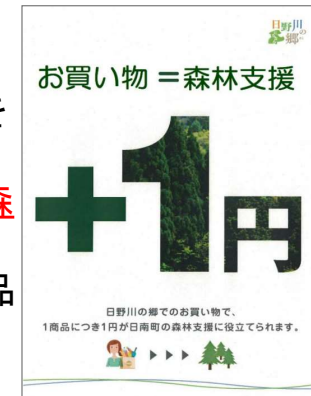
## (2) 地域産業の振興拠点

### 道の駅を通じた森林保全活動

#### ■道の駅「にちなん日野川の郷」 (鳥取県日野郡日南町)

林業や農業が盛んな日南町では、道の駅のすべての商品に1品1円のクレジットを付与した寄付型オフセット商品  
 を販売し、消費者が町の森林保全活動に貢献。

近年、寄付型オフセット商品への協力企業の加入率は上昇傾向だが、さらなる拡大が課題。



#### ①商品ラベル、レシート



道の駅の商品を寄付型オフセット商品として開発。1品1円のオフセットクレジットを付与して販売(レストランは1レシート1円)することにより売上の1円を日南町森林へ還元していく仕組みを構築。

#### 日野川の郷

電話番号：0859-82-1707

毎度お買上ありがとうございます。カネアットにご協力いただき誠にありがとうございます。

2016年09月07日16時37分  
 シートNo. 07-00001-0001-20665

¥A(長総7)

オクラ	2128195400905	90円
ニンニク	2161010201005	100円
	2148002702005	200円
カネアット協力金		3
小計	3点	¥393
合計		¥393
預り		¥400
釣り		¥7

振 000005  1名  
 R: 2020

1商品につき  
 1円が森林支援に



## (3) 防災拠点

<h3>自衛隊・消防隊やボランティアの 後方支援拠点</h3>	<h3>災害時の広域拠点として 近隣の道の駅と連携</h3>
<p>■道の駅「遠野風の丘」(岩手県遠野市) 東日本震災時には、自衛隊・救急隊の支援拠点として機能を発揮。これを受けて、岩手県広域防災拠点配置計画の広域防災拠点に位置づけられ、ベースキャンプ、備蓄等の高度な防災機能を分担。</p> <div data-bbox="398 715 931 1066"> <p>震災時の中継拠点として活用</p> </div> <div data-bbox="398 1075 931 1476"> <p>津波被害を後世に伝える震災伝承コーナー</p> </div>	<p>道の駅「遠野風の丘」は沿岸各市町への後方支援拠点(『扇の要』)として活用。全国の自治体等から集められた支援物資の沿岸被災地への搬送等を実施。</p> <div data-bbox="1099 651 1993 1437"> <p>半径50km圏</p> <p>宮古市地域防災計画にて道の駅が防災拠点に位置付け</p> <p>遠野市</p> <p>集結</p> <p>支援</p> <p>支援</p> <p>支援</p> <p>支援</p> <p>岩手県地域防災計画にて道の駅「遠野風の丘」が広域防災拠点(後方支援拠点)に位置付け</p> </div>

# (参考)各道の駅における取組事例

## (4) 住民サービスの拠点

### 移動販売車による 高齢者の買物支援

■道の駅「本庄」(島根県松江市)

**買い物の楽しみや野菜を作る喜び**をもち続けていただくために、**移動販売及び農作物の集荷事業を開始**。

試行期間を経て、R4.4より運行表を見直し。市民ニーズのある地域を含めて本格運行を開始。



## (5) 交通拠点

### 公共交通再編と 交通拠点施設の整備

■道の駅「和紙の里」(埼玉県秩父郡東秩父村)

新たな生活・交通・観光の拠点となるよう、体験型観光施設の「和紙の里」に様々な機能を備えた複合施設を整備。「和紙の里」を**公共交通のハブ**とし、全てのバスを結節させることにより、**運行本数の増加**や**利用頻度が高い時間帯に多くのバスを運行**させることで利便性を向上。

#### 和紙の里ハブ化の構想

